

平成28年度実施 第1回沖縄県青少年の家に係る指定管理者制度運用委員会
(モニタリング検証結果について)

- 1 日時 : 平成28年8月8日(月) 13:00~15:00
- 2 場所 : 県庁13階教育委員室
- 3 出席者 : 沖縄県立青少年の家指定管理者制度運用委員会委員5人
事務局一生涯学習振興課長、管理班長、社会教育班員、管理班員
- 4 検証事項 : 県立青少年の家6施設(名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣)の
平成27年度モニタリング検証結果の検討について
- 5 検証内容 :
 - (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦言に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
- 6 検証方法 : 事務局(生涯学習振興課)によるモニタリング報告の後、質疑応答を行いながら各項目について検証を進めた

■委員1

・指定管理料に修繕費や備品購入費が含まれているのであれば、改築した石川はそのお金が浮くことになる。その分の指定管理料の県への引き上げがあるのか。

□事務局

・指定管理料には修繕費や備品購入費も含まれている。石川について、指定管理料の県への引き上げはない。収支実績の報告から、指定管理料は各所適切に執行されていると考える。

■委員1

・玉城などの老朽化した施設は費用がかさむ。石川と玉城では指定管理料は金額的に同程度である。それでは指定管理者間の中で不公平が生じているのではないか。

□事務局

・指定管理料は、基本的に、各所ごとに過去数年の収支実績を基に算定する仕組みになっている。なので、各所に適した指定管理料が設定されている。収支実績からも不公平が生じているとは考えていない。

■委員2

・修繕や備品の購入については県が負担しているのか。

□事務局

・50万円以上の修繕については、県が負担することになっており、協定書にも記載されて

いる。また、備品についても消防備品など、安全面や施設の性質として必要性の高い物については、県で購入することもある。

■委員 2

・備品を指定管理者が購入した場合の取扱いについてはどうなるのか。

□事務局

・指定管理の更新がない場合は、指定管理者が購入した備品は、指定管理者で引き上げるかどうか県と協議できることになっている。

■委員 3

・各施設の火災保険について、指定管理者が出資している所と、していない所とあるが、どうなっているのか。

□事務局

・火災保険は、各所とも県で建物共済に加入している。その上で各指定管理者の任意により、県の加入する保険以上の厚遇を求める場合に指定管理者で自主加入をしている。

■委員 4

・アンケートの無回答や集計数の少なさが気になる。アンケートの取り方に問題があるのでは。

□事務局

・アンケートの取り方に問題があったかもしれない。アンケート記入時間があまり確保できなかった等の問題で無回答ということが考えられる。事業の実施直後に行うと時間が上手くとれないとの報告も受けている。記入時間の確保について周知徹底を行う。

■委員 3

・アンケートに関しては、本年度から様式を統一し行うこととなるので、今モニタリングで見られる回収率や無回答の問題も解決されるはずである。また、アンケートの取り方は国立に習って統一様式を代表者アンケート、主催・自主事業アンケートの2種類を作成している。代表者アンケートとしているのは、子どもが多い団体等の場合にアンケート結果に信頼度にかけることがあることが想定されるため、国立に習ってそのように定めた。

□事務局

・アンケートの集計結果報告のあり方や、モニタリングでのアンケート結果の落とし込み様式の統一など行っていかなくてはならない。

■委員 5

・施設宿泊研修等の利用にあたり、施設で事前調整を必ず行わなければならないのは困るということだが、今もそうなのか。他県の施設では、当日で調整を行っているところもある。施設利用者は学校関係だけではない。青少年団体については、昼間は直接施設へ行って調整することは難しい。

■委員 3

・引率者として現場の直接確認は大切。例えば、施設の指導員から施設の危険箇所を直接

見回りながら指導を受けるなどのことがあり、施設管理者、利用者双方にとって必要である。遠方については、何日か前に電話等だけのやりとりで、安全面は施設任せというのは問題では。前もって行くことが難しくとも、当日の2時間前に先乗りして打ち合わせを行うなどでもやったほうがいい。

□事務局

・複数団体が入る時など調整が必要になる。施設だけでは判断できない事項のすり合わせが必要になる場合もある。各施設のある程度の裁量で、事前打ち合わせのルールについて弾力性を持たせられる方向で調整したい。

■委員3

・石川と玉城で宿泊指導者研修を同じ日程でやっているのは、合同で計画するのもいいのでは。その他の事業についても各所で合同プログラムを組めたりはできないのか。また、教員の免許更新と抱き合わせで事業を行えたりはできないのか。国立施設では、実際にやっていたりする。

□事務局

・実現可能かどうか検討したい。

7 検証結果：モニタリング検証にあたり、沖縄県立青少年の家の指定管理運営状況について上記の評価を得た。指定管理社及び県が実施するモニタリングについて課題・検討事項を踏まえながら今後も適切に行いたい。

I. 履行確認

1. 維持管理業務

- (1) 清掃
- (2) 保守・点検
- (3) 保安・警備
- (4) 小規模修繕
- (5) 備品購入

2. 運營業務

- (1) 利用実績
 - 1) 利用者数
 - 2) 施設稼働率
- (2) 主催事業
- (3) 自主事業

II. サービスの質の評価

維持管理業務

運營業務

III. サービスの安定性評価

1. 事業収入

- (1) 収入
- (2) 支出

2. 経営分析指標

県立【玉城】青少年の家 指定管理者 モニタリングシート

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	利用団体による清掃 毎週2～3回シルバー会員による清掃	清掃記録簿及び 現地確認	適正	現地確認により適切に実施されていた。清掃点検も記録簿で適切に管理されている。
〈定期清掃〉	廃棄物処理業者と委託契約を締結し、週3回のごみ回収を実施	契約書、実施報告書及び現地確認	適切	実績報告書等及び現地確認により適切に実施されていた

(2) 保守・点検

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
電気設備点検	専門業者と委託契約締結 2か月毎:1回 年次点検:1回	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた
消防設備保守点検	専門業者と委託契約締結 年2回実施(8月・2月)	契約書、実施報告書等により確認	適正	消防点検報告書等により、適切に処理されていた
貯水槽清掃業務及び維持管理点検	専門業者と委託契約締結 年次点検:年1回	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた
ボイラー設備保守点検	専門業者と委託契約締結 年2回実施	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた
浄化槽維持管理	専門業者と委託契約締結 月2回実施	契約書、実施報告書等により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた

(3) 保安・警備

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
①保安警備 ②監視カメラによる警備	①警備会社と委託契約を締結し、夜間は毎日17:15～8:30、土日祝日・年末年始・慰霊の日・旧盆・台風時は昼間8:30～17:15警備員1人の常駐警備。 ②裏門、及びキャンプ場に各1台設置し、常時監視している。	契約書、警備日誌、等により確認 カメラは現地にて実物確認	適正	今後も安全管理を徹底すること

(4) 小規模修繕

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施。	建物付属設備、空調機器、水道配管、電気器具類、車両、草刈り機等の修繕費2,149千円	作業実績報告書、請求書等により確認	適正	今後も所管課との連携を図りながら、計画的な修繕に努めること

(5) 備品購入

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算 500千円	平成27年度 0円 前年度で必要備品は概ね購入済みで、今年度は石川青少年の家から移動した物品もあり、新規購入は県費購入の厨房用のスチームコンベクション	現地確認	適正	今後も所管課との連携を図りながら、計画的な備品購入に努めること

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加して記入して下さい。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
利用者数	利用者実数	24,000	23,404	98%	日帰りや短期滞在者向けの利用促進を図る
	利用者延べ数	36,000	36,344	101%	

2) 施設稼働率

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
開所日数		308	322	105%	ほぼ計画通りの実績となっている。今後もより一層の利用促進に努める
利用日数		240	254	106%	
利用率		78%	79%	101%	
利用延べ人数		35,000	36,344	104%	
	学校教育	15,000	15,779	105%	
	社会教育	10,000	9,827	98%	
	その他	10,000	10,738	107%	
施設別利用		12,705	13,117	103%	研修室や体育館(プレイホール)の利用促進を図る
	宿泊室	10,000	10,419	104%	
	研修室	110	95	86%	
	体育館(プレイホール)	95	82	86%	
	キャンプ場	2,500	2,521	101%	
	その他	0	0	-	

(2) 主催事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の 検証(計画 達成率 %)	業務改善に向けた分析
歴史探訪パート1～東御廻り&久高島アマミキヨの旅～	4月14日～15日	成人	25名	26名	104%	・時間配分.各拝所の所要時間を確認
スターウォッチングパート1	4月24日	親子・成人	50名	57名	114%	・予定時間をオーバーした、検討要する。 ・当日のキャンセルが出た。連絡方法に工夫要する
野外活動実技研修会(前期)	5月9日	学校教諭・団体指導者・施設サポーター	20名	8名	40%	・参加者が少ない、増やす方法の工夫が必要
春のファミリーキャンプ～乗馬体験をしよう～	5月23日～24日	10家族	30名	45名	150%	・先着順にした為、初日にオーバーした。次回からは抽選を検討する。
親子野草観察&試食会	6月7日	親子・成人	50名	48名	96%	・調理時間、片づけに時間がオーバーした。
スターウォッチングパート2	7月17日	親子・成人	50名	52名	104%	・天体望遠鏡2台セットしたが天候に左右された。 ・当日連絡無しのキャンセルが出た。
少年少女カヌー体験キャンプ	8月8日～9日	小学5・6年生	20名	12名	60%	・雨天時・荒天時のプログラムを事前に準備し、スムーズに対応出来るように対応する。
野外活動実技研修会(後期)	8月14日	学校教諭・団体指導者・施設サポーター	20名	5名	25%	・各種団体等への広報を徹底し、参加者を増やす事について検討する。
スターウォッチングパート3	10月16日	親子・成人	50名	47名	94%	・今回も天候に左右された ・当日連絡無しの欠席者が2名出た
親子クリスマスリース作り	11月22日	親子	30名	11名	55%	・応募者が少ない ・広報に工夫する
新春ファミリーキャンプ～島豆腐作り&巨木を探そう～	1月30日～31日	10家族	30名	29名(9家族)	97%	・借用したミキサーに不具合があった、事前の確認が必要だった
スターウォッチングパート4	2月10日	親子・成人	50名	41名	82%	・今回も天候に左右された ・望遠鏡のスタンドライトが明るいので調整要する
玉城青少年の家オープンデー	3月13日	地域・一般県民	500名	600名	120%	・予想外に参加者が多く、工作では用具不足で待ち時間が生じた ・指導者を増やす等、対策が必要。

(3) 自主事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の 検証(計画 達成率 %)	業務改善に向けた分析
芋栽培体験 (さつま芋の植え付け)	5月中旬～下旬	保育園児・学童	200名	200名	100%	・カズラの種類によって芋の大きさに大小がある、種類の統一を検討したい
ヒータマラサー漁・魚料理体験活動・イノーの生物観察	7月29日	小学3年～中学3年生	20名	23名	115%	・漁獲量に関係なく網の引き揚げ体験をさせる ・魚が獲れない場合を想定して魚のさばき体験用の魚を事前に準備する
森の中の夕涼みコンサート	9月23日	幼稚園児・児童生徒・一般成人	150名	500名	333%	・ステージが狭かった ・西日が入った。ステージの位置を検討する ・演技時間の調整を検討する
歴史探訪パート2～東御廻り&久高島アマミキヨの旅～	10月7日～8日	成人	25名	26名	104%	・公共団体用バスの借用が複数団体有り難しい ・昼食時間が短いので余裕のある時間を検討する
秋のファミリーキャンプ～ハーリー体験&いざり漁体験～	10月24日～25日	家族(小・中学生)	10家族	31名(9家族)	103%	・抽選の結果を一週間前には知りたい ・検討して改善要望に応えたい
芋栽培体験 (さつま芋の収穫祭)	10月下旬	保育園児・学童	200名	200名	100%	・収穫後に・いもモチ・ポテトチップスの試食会を実施した ・継続の要望があった
芋栽培体験 (ジャガ芋植え付け体験)	11月上旬	保育園児・学童	200名	200名	100%	・植え付け体験時に怪我の無いよう細心の配慮をした、継続して実施したい
ピザとパンづくり教室	11月8日	児童生徒徒歩保護者・一般	30名	25名	83%	・3グループに班編成したが、親子で活動する参加者が多く、次回からは食材は事前に分けて準備する
親子陶芸教室	12月20日	幼稚園児以上の親子	25名	27名	108%	・講師の説明が後部座席からは見えなかった、改善する。 ・マスコミへの広報依頼を3週間前には発送する
しまくとうばと鬼ムービー作り体験	1月17日	小学生と保護者・中高校生・一般	30名	27名	90%	・実施日が地域・団体の事業と重なり参加者の確保に苦労した ・蒸す時のムービーの並べ方・重ね方に工夫する
黒糖づくり	2月21日	幼稚園児以上の児童生徒及び親子	30名	57名	190%	・多人数になると一名の外部講師では、対応が難しい ・煮詰めの工程に時間を要した
歴史探訪パート3～南城市内の古代遺跡廻りと歴史散歩～	3月2日	成人	25名	21名	84%	・弁当持参の参加者がいた、参加費に昼食代込と明記する必要がある
芋栽培体験 (ジャガ芋収穫祭)	3月上旬	保育園児・学童	200名	200名	100%	・ジャガイモもち、ポテトチップスを作り試食した。ガスコンロを使うので火傷等がないように配慮した。次回にも継続、配慮する
しまくとうば講座 (出前講座)	通年	小学生	不定	要望なし	0%	南城市内の小学校と連携を深め実施に向けて努力する

II. サービスの質の評価

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
維持管理業務	<p>施設内の環境について（安全性、清潔性、空調等）</p> <p>クーラーの調子が悪く、睡眠不足を来した。</p> <p>トイレは洋式のほうが良い。</p>	<p>☆空調設備の改善 冷房機器の故障で使用不能となっていた宿泊室10部屋の内、3部屋と第1・第2研修室の7台中4台の冷房機が、石川青少年の家から移動した機器と交換し復旧したので、利用団体の受入制限が解消された。</p> <p>☆要望が多いので洋式トイレの工事見積りを業者に依頼中</p> <p>☆空調設備については一部に改善を見たものの、大部分の機器が経年劣化により限界に達している。今後とも改善に向け善処したい。</p> <p>☆これまでも施設内禁煙を実施してきたが、一層の徹底を図ることと、受動喫煙防止対策のため、保健所へ沖縄県禁煙施設認定推進制度の認定申請を行った。 その結果、施設内完全禁煙施設認定を受けた。</p>	<p>施設整備に関しては、これからも県と協力して改善することが望まれる。特に利用者の安全性（熱中症等）に配慮することが大切である。</p>
運営業務	<p>職員の対応について（マナー、施設の利用方法の説明等）について</p> <p>☆入所・退所のオリエンテーリング ☆野外炊飯：オリエンテーリング ☆団体入所中の対応等について：好感の評価を受けている。</p>	<p>☆専門職員間の所内研修の実施や所内会議を充実させ、常に研鑽・向上・努力した。 ☆評価は：やや満足</p> <p>☆毎週の定例所内会議にて諸事業等について反省・評価の会議を継続して実施していきたい。また、施設及び運営、危機管理、対応等について常にふりかえり、情報の共有と改善に向け取り組んでいる。</p>	<p>今後も所内研修を重ね、利用者の満足度を高めて欲しい。</p>
運営業務	<p>施設設備について（宿泊室、体育館・プレイホール、研修室、食堂、キャンプ場等）</p> <p>☆B炊飯棟の水道パイプが破損し噴水状態となる</p> <p>☆クーラーの不調で睡眠不足</p> <p>☆隣室がうるさく、喫煙もしている様子。</p> <p>☆電灯の点かない所を整備してほしい。</p> <p>☆トイレは洋式が良い。</p>	<p>☆経年劣化による水道配管腐食部分破損 1. 1階リーダー室天井裏給湯管漏水 2. 炊飯棟水道配管腐食による破裂漏水 3. 屋上タンク漏水修理</p> <p>☆電気工事（厨房動力設置、外灯設備漏電、炊飯棟漏電修理）</p> <p>☆業者へ洋式トイレへの取替工事見積りを依頼中</p> <p>施設内禁煙の周知徹底を図るため、ポスター等で対応。 施設内での喫煙は極く少数だと思われる。</p>	<p>施設整備に関しては、これからも県と協力して改善することが望まれる。特に利用者の安全性（熱中症等）に関しては、早急の改善が必要である。</p>

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
運営業務	主催事業について（13本） ☆歴史探訪:3回実施、地域に関連した事業だと好評だった。 ☆親子野草観察会:施設内に棲息している野草の多さに感激した。:好評だった。 ☆スターウォッチング:4回実施・参加者多く毎回:好評 ☆親子クリスマスリース作り:施設内に自生する蔦を採取してのリース製作 ※大変好評 ☆玉城青少年の家オープンデー:評価、満足	☆歴史探訪:地域の立地条件を活用した事業で毎回応募者の多い事業である。今後も継続実施する。☆評価:満足☆各種事業とも参加者からのアンケートの評価は高い☆評価:満足 ☆オープンデー:600名余の参加があり、今回は家族連れが多く、体験コーナー等が大盛況だった。☆評価:満足 ・春のファミリーキャンプ～乗馬体験雨天の為乗馬が出来なかった。雨天時のプログラムで実施した。キャンプは天候に大きく左右されるが、予備のプログラムを準備していたので、スムーズに日程を消化出来て良かった。☆前日・当日のキャンセルが事業毎に有り:連絡時の再確認等工夫する。	今後とも、できる限りの利用者ニーズを考えて運営にあたって欲しい。また、沖縄は特に天気に左右されるので、安全を第一に確保し、その代替になるプログラムを開発し準備に備えて欲しい。
	自主事業について（14本） ☆芋・ジャガ芋植え付け、試食会 ☆ヒータマラサー漁・魚料理体験活動・イノの生物観察会 ☆森の中の夕涼みコンサート ☆ピザとパン作り教室 ☆親子陶芸教室 ☆しまくとうばと鬼ムーチャー作り体験 ☆黒糖づくり ☆各事業について 評価は:満足	☆芋・ジャガ芋事業4保育園が参加、体験活動事業として高い評価を得たと実感している。 ☆ヒータマラサー漁:地域の伝統漁法の体験・魚料理体験、すべてが参加者には初体験で好評だった。 ☆ピザとパン作り教室・陶芸教室・しまくとうばと鬼ムーチャー作り体験・黒糖づくり事業についても☆評価は:満足 ☆ヒータマラサー漁:漁獲量が少量だった。次回には体験場所の変更などに改善・工夫したい。☆ピザ釜を新設し充実したい。	それぞれの地域の特性を活かしながら事業所の目玉・誇りとなり得るものをこれからも開発して欲しい。
総合評価	☆アンケートの結果から (1) とても良い 70% (2) 良い 20% (3) 普通 10% (4) 悪い 0% (5) 無回答 0%	☆事前打ち合わせ時や団体入所後に、責任者との連絡を密に行い、諸要望に対応した結果、入所団体からの評価が満足の評価に起因したものだと思う。 ☆評価は:満足 ☆全般的に適切な対応が評価を受けたと思う。今後とも職員間の情報の共有・連絡・連携を確認し入所団体の安全・安心に心して、さらなる向上に努力邁進したい。	全体的に適切な対応ができています。今後とも利用者の満足度を高めリピーターを増やすことで多くの県民への利用を促すようにして欲しい。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

III. サービスの安定性評価

1. 事業収入

(1) 収入

(単位：千円)

収入項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
利用料金収入	計	3,000	3,256	109%	
	宿泊室	3,000	2,667	89%	
	キャンプ場	0	292	-	事業計画数値無し
	研修室及び訓練室	0	169	-	事業計画数値無し
	プレイホール	0	128	-	事業計画数値無し
指定管理料	37,111	37,111	100%		
主催事業収入	0	31	-		
自主事業収入	30	175	583%		
事業収入その他	1,500	1,726	115%	シーツ代、薪代	
その他収入（自販機電気料等）	470	83	18%		
合計（A）	42,111	42,382	101%		
〈業務改善に向けた分析〉					
概ね計画通りの実績となっている。利用料金についても事業計画の数値を具体的に設定し、その計画に基づいた経営が行えるよう指導する。					

(2) 支出

(単位：千円)

支出項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
人件費		16,316	18,020	110%	計画立案時に欠員であった専門職を7月に増員したため増
報償費		120	152	127%	
旅費		500	499	100%	
需用費		11,231	10,504	94%	
	消耗品費	3,001	2,341	78%	
	燃料費	80	473	591%	
	印刷製本費	150	150	100%	
	光熱水費	5,500	5,391	98%	
	修繕料	2,500	2,149	86%	
役員費		768	813	106%	
	通信運搬費	380	435	114%	
	手数料	78	129	165%	
	損害賠償保険料	180	179	99%	
	自動車保険料	130	70	54%	
委託料		9,734	9,061	93%	
使用料及び賃借料		2,003	2,186	109%	
備品購入費		500	0	0%	
負担金		30	39	130%	
公課費		909	1,527	168%	
合計		42,111	42,801	102%	
〈業務改善に向けた分析〉					
概ね計画通りの実績となっており、適正に執行されている。玉城青少年の家は老朽化施設なので、今後の修繕については所管課と調整を行いながら、先を見据えた適切な執行に努める必要がある。					

2. 経営分析指標

評価指標	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
事業収支 (収入(A)－支出(B))(単位:千円)	0	-419	-	
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	7%	8%	107%	
人件費比率 (人件費／支出(B))	39%	42%	109%	
人件費比率 (人件費／収入(A))	39%	43%	110%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	23%	21%	92%	
外部委託費比率 (外部委託費合計／収入(A))	23%	21%	92%	
利用者あたり管理コスト(※) (支出(B)／利用者数)(単位:円)	1,203	1,178	98%	
利用者あたり自治体負担コスト(※) (指定管理料／利用者数)(単位:円)	1,060	1,021	96%	
〈業務改善に向けた分析〉				
事業収支実績は419千円の赤字となっている。収入に占める指定管理料の割合は約88%で、26年度実績の約92%に比べ、自主事業等による利用料金の比率増加がうかがえる。今後さらに自主事業による収入増が図られるよう、指定管理者と連携を行ってきたい。				

※経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。
人件費比率	人件費／支出	支出の中で人件費が減らされすぎていないか、それにより効率が低下していないかを確認する。
人件費比率	人件費／支出	支出の中に占める人件費がどの程度かを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計／収入	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけのコストが費やされているか。コストが少なくても利用者が少ない、あるいは利用者は多いがコストがかかっているなど、前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけの県による財政負担がなされているか。前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。